

**えんめいじぞう 延命地蔵**

真福寺正門の北東にあるお地蔵さまで、今のは昭和12年(1937)に地蔵堂と一緒に寄付されたものです。構のお地蔵さまは延命地蔵で、北向きのお地蔵さまは特にご利益があると信じられています。



行った日



**かもさきづか 加茂神塚**

国の重要文化財である「北野天神縁起」によると、菅原道真が左遷された時、細江に上陸し、加茂社へおまいりして、神主の家に泊まったそうです。出発の時に、持っていた杖を突き刺すと、杖から芽が出て枝が生い茂ったそうで、その後、逆木(神)天神として信仰されました。

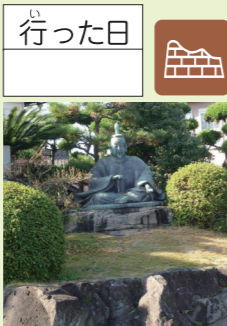


行った日



**しあんばし たび 思案橋(お旅)**

明治時代中ごろまでは、このあたりは畑が広がり、船場川にかけられた「思案橋」は木でできていました。思案橋の西側のたもとには津田天満神社のおたまり所です。菅原道真がここで休憩したという伝説に関する石碑が大正13年(1924)に建てられ、昭和37年(1962)に道真の銅像がおかれました。



行った日



**しんきょうじ 真教寺**

親鸞聖人の直接の弟子である導味が常陸国に建てた真教寺というお寺がありました。その11代目の住職導善が今在家にやってきて、宝国山真教寺を建てました。その後、寛文年間(1661~73)に道西が復興させ、文政3年(1820)に8代目の諦忍が建て直したのが、今の本堂です。



行った日



**しんぶくじ 真福寺**

永正13年(1516)、赤松氏の家来だった赤松治良頼善(のちに誓俊という)が、飾磨区山崎にあった浄土宗のお寺を浄土真宗に変えて、いまは今の場所より北西にある字真福寺という場所に建てました。天文年間(1532~54)に今の場所に移されました。



行った日



調べたこと、  
分かったことを  
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

**30 津田地区**



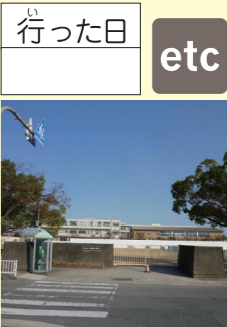
津田地区には津田天満神社をはじめ、菅原道真にゆかりのある場所がいくつかありますね。学問の神さまとして名高い菅原道真とはどんな人だったのか調べてみましょう。



0m 500m 1km

**つたしょうがっこう 津田小学校**

明治24年(1891)今在家村の明倫学校と構村の榮績学校がなくなり、津田尋常小学校がつけられました。その後、高等科もつけられました。昭和8年(1933)に津田村と飾磨町が合併した時、飾磨尋常高等小と合併しました。昭和47年(1972)、飾磨小学校から分かれ、津田小学校が開校しました。



行った日

etc

**つだてんまじんじや 津田天満神社**

大昔は大蔵明神をまつていました。その後、菅原道真を敬う村の人たちが、道真をおまつりし、津田天満神社となって今も続いています。藤原親泰が贈った「北野天神縁起」三巻は、昭和34年(1959)に国の重要文化財の指定を受け、今は奈良国立博物館にあります。



行った日



**つだてんまじんじや 津田天満神社 旧御旅所と中地天神遺跡**

天禄元年(970)円融天皇が、今の場所に津田天満神社を建てました。その跡地が中地御旅天神になったと伝わっています。今は中地南公園内へ移り、「中地天満神社跡」の碑が中央大路に残っています。



行った日



**みょうぜんじ 妙善寺**

播磨四か道場の一つです。永正9年(1512)、津田牧水村妙善寺へ仏さまの教えが伝わってきました。伊藤美濃守長英の次男・次郎が蓮如上人の教えをうけて善教と名のり、その後、祐善と名前を変えて、このお寺を開きました。今の本堂は文化5年(1809)、11代目の恵蔵が建て直したものです。



行った日



**やくしどう 薬師堂**

今在家西高長に明願寺という大きなお寺がありましたが、羽柴秀吉の英賀城攻めの時に焼けてしまいました。信者が焼け跡から明願寺のご本尊を探し出し、津田天満神社にまつりましたが、神さまと仏さまを同時にまつことが禁じられたので、今の場所に薬師堂を建てまつりました。



行った日

